

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立広南中学校
(広南中学校区)

全国平均値との差		
	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	— 0.1	+0.5
令和5年度	+13.2	+3.0
令和4年度	+ 3.0	−1.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 58.0% 全国 58.1% 県 58.0% 我が国の言語文化 情報の扱い方 言葉の特徴や使い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと	重点課題	◎話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることに課題がある。(設問1四)【話すこと・書くこと】(平均正答率44.7%) ◇自分の伝えたいことが伝わるように根拠を明らかにして書くこと、表現の効果を考えて工夫して書くことに課題がある。【書くこと】
	改善の方策	◎実際に話合いをする学習において、目的や状況に応じた質問になっているかを検討し振り返る学習活動を行う。その際、国語科の学習のみならず、他教科等の学習との関連を図り、話合いを踏まえて自分の考えをまとめる活動を設定する。 ◇三角ロジック等を活用し、提示した条件に合わせて自分の考えを書いて話す活動や、書いた文章をお互いに読み合い説明して確かめる活動を行う。
	検証	◎全国学力(設問1四)(第1〜3学年, 2月)目標60%→結果58.9% 全国学力(設問1四)の類似問題(第1〜3学年, 2月)目標60%→結果64% ◇全国学力(設問3四)の類似問題(全学年, 2月)目標70%→結果60.7%
数学 本校 53.0% 全国 52.5% 県 52.0% 数と式 図形 関数 データの活用	重点課題	◇◎図形の性質について説明する場面において、根拠をはっきりさせて数学的に表現することに課題がある。(設問9(1))【図形】(平均正答率9.5%) ◎ある事象を数学的に説明する場面において、数量を文字を用いた式で表すことに課題がある。(設問1)【数と式】(平均正答率14.3%)
	改善の方策	◇◎図形の性質について説明する場面において、複数の説明を比較する学習活動を設定することで、必要な情報を適切に判断し、よりよく説明できるようにする。 ◎様々な事象の問題解決の場面で、数量を文字を用いて表す活動、文字で表された数量を読み取る活動をそれぞれ設定する。
	検証	◇◎全国学力(設問1)(第2・3学年, 2月)目標40%→結果45.2% ◎全国学力(設問9(1))(第2・3学年, 2月)目標30%→結果33.3%

【来年度に向けて】

国語：国語科の授業だけでなく、すべての学習活動において「はなしたいわシート」を活用した意見交流等を行い、自分の考えをまとめる活動を設定する。その際、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして話したり書いたりする学習活動を行う。

数学：ペアやグループで自分の考えを説明し合う機会を設定し、根拠をはっきりさせて論理的に考察し、伝えるべき情報を取捨選択する力を身につけさせる。また、問題解決の導入場面で、文字を用いた式で説明する学習活動を行い、そのよさの実感を伴った理解を促す。